

# 第10期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査

## (有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)

・令和8年3月31日現在の情報

・回答事業所数：23事業所

### Q1 入居者の入居の状況について

(1) 令和8年3月31日時点の定員数及び入居者の人数を記入してください。

定員数	1,414	人	入所率	90.1	%
入居者全体の人数	1,274	人			
うち住民票が「市内」にある人数	619	人			
うち住民票が「市外」にある人数	642	人			
待機者数	36	人			

(2) 入居者の介護度別の人数を記入してください。

介護度なし	78	人
要支援1	60	人
要支援2	35	人
要介護1	261	人
要介護2	201	人
要介護3	199	人
要介護4	239	人
要介護5	140	人
全体	1213	人

(3) 生活保護受給者の受入れを行っていますか？

14	いる	→	174	人
9	いない			

(4) (1)の設定で、入所率が90%に満たない場合のみ回答ください。

入所率が90%に満たない理由にあてはまるものはありますか。

1	ア 職員不足により受け入れを制限している
1	イ 申し込みが少ない
5	ウ 入所希望と受入れ条件が一致しない
0	エ 経営戦略のため敢えて受け入れを控えている
2	オ その他（自由記述欄に理由を記入してください。）

(自由記述)  
・逝去等で退居が重なったため  
等

(5) 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅について、国は特別養護老人ホーム等の待機者の解消として期待をしていますが、実際の現状はいかがですか。また、ご意見等があればご記入ください。

・特別養護老人ホームの待機中に利用する方もいる。  
・特別養護老人ホームとはサービス内容や入居経費等の違いが大きい。  
等

### Q2 利用者の居所について

(1) 令和7年4月1日から令和8年3月31日までの期間に、貴施設から他施設等へ移動した利用者の人数をご記入ください。

273 人

(2) (1)の内訳についてご記入ください。

ア 他の特別養護老人ホームへ移動	22	人
イ 他の有料老人ホームまたはサービス付き高齢者向け住宅に移動	33	人
ウ その他の施設に移動	1	人

施設サービスの種類を入力してください⇒

・ショートステイ・自宅・介護療養型医療施設・グループホーム・ケアハウス・介護老人保健施設

エ 病院に入院

オ 死亡

(3) (2)で「ア～ウ」と回答された方の主な理由についてご記入ください。

・金銭的な問題  
・ご家族宅の近くへ転居  
等

### Q3 利用料について

(1) 利用料の滞納対策を行っていますか。

15	行っている
7	行っていない

(2) (1)で「行っている」と回答された場合、具体的にはどのような対策を行っていますか。

・契約時の事前説明  
 ・連帯保証人制度の活用  
 ・滞納時にはキーパーソンへ通知や電話連絡を行う等

### Q4 ACP等の取組について

(1) ACPの取組を行っていますか。

9	行っている
13	行っていない

(2) (1)で「行っている」と回答された場合、具体的にはどのような取組を行っていますか。

・適宜、ご家族や医師等と情報共有を行い、方向性を確認している等

(3) 入所時に緊急の調査をしていると思うが本人や家族の意向の更新についてされていますか。

18	行っている
----	-------

(頻度)

・定期的の実施(3か月～1年に一度)  
 ・状態変化発生時に実施等

4	行っていない
---	--------

### Q5 市内において、訪問介護、通所介護等の事業所運営している場合の状況について

(1) 新座市内で、訪問介護や通所介護事業所等を運営していますか？(施設に併設している事業所を含む)

12	運営している →(2)、(3)へ
10	運営していない →Q4へ

(2) 市内で運営している事業所(施設に併設している事業所を含む)の状況についてご回答ください。

ア 通所系のサービス

・利用者数(全体)	506	人	(全体の 38%) ←割合が表示されます
うち入居者の利用人数	191	人	(全体の 44%)
うち外部からの利用人数	224	人	
・1人当たりの1週間の平均利用日数	40	日	
・1人当たりの1日の平均利用時間	54.5	時間	

イ 訪問系のサービス

・利用者数(全体)	536	人	(全体の 49%) ←割合が表示されます
うち入居者の利用人数	260	人	(全体の 25%)
うち外部からの利用人数	132	人	
・1人当たりの1週間の平均利用日数	132	日	

ウ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

・利用者数(全体)	189	人	(全体の 28%) ←割合が表示されます
うち入居者の利用人数	52	人	(全体の 2%)
うち外部からの利用人数	3	人	
・1人当たりの1週間の平均利用日数	0	日	

エ 居宅介護支援事業所

・入居者全体の人数	243	人	(全体の 94%) ←割合が表示されます
担当している要介護者数	229	人	

法人内の居宅介護支援事業所にしなければならない等の規定の有無

0	ある →	規定の内容について記入してください。
9	ない	

(3) 貴施設の入居者で、貴法人の運営する事業所(訪問、通所等)ではなく、外部の事業所を利用している人数をご記入ください。

77	人	(全体の 6%) ←割合が表示されます
----	---	---------------------

## Q6 人材確保の状況について

(1) 人材確保で苦労していることはありますか。

・求人情報を掲載しても応募希望者がいない等

(2) 施設の人材確保で特に工夫していることはありますか。

・職員からの紹介  
・スポットワーカーへ直接雇用の声掛け  
・離職率を下げるための職場環境の改善等

(3) 外国人職員の雇用状況について教えてください。

16

雇用している → 人数 85 名

7

雇用していない

## Q7 災害時の対応について

災害時に一般の避難所では避難生活の継続が難しい高齢者等を一時的に受け入れることは可能ですか。

※人数に決まりはありません。

8

可能である

15

難しい

## Q8 県や市から支援してもらいたいことはありますか。

(1) 県に支援してもらいたいこと

・物価高騰対策の補助金  
・衛生用品や備蓄品の供給  
・人材確保等

(2) 市に支援してもらいたいこと

・衛生用品や備蓄品、災害時の物資等の供給  
・人材確保  
・物価高騰や体調管理のための補助金  
・レクリエーションへの参加やボランティアの支援等

事業所が特定されることのないよう回答内容を集計しております。  
ご了承ください。

# 第10期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査 (居宅介護支援事業所)

・令和8年3月31日現在の情報

・回答事業所数：31事業所

## Q1 貴事業所に在籍する介護支援専門員の状況について

(1) 令和8年3月31日時点の介護支援専門員の在籍について、年齢ごとの人数をご記入ください。

(年齢)	(常勤)	(非常勤)	(計)
70才以上	10人	1人	11人
65才～69才	13人	1人	14人
60才～64才	14人	3人	17人
50才～59才	38人	0人	38人
40才～49才	12人	1人	13人
30才～39才	4人	1人	5人
29才以下	0人	0人	0人
合計	91人	7人	98人

(2) 介護支援専門員の在籍が1人の事業所にお伺いします。緊急時(職員の病休等)の対応についてはどうされているかご記入ください。

(例) 他の事業所と連携している、特に考えていない、など

・包括や他の事業所と連携している  
・「ひとりケアマネを紡ぐ会」で話し合っている  
等

(3) 事業所の管理者は、主任介護支援専門員の資格を既に取得していますか。

30 ア 取得している → (6)人  
1 イ 取得していない → (4)人

(4) (3)において「イ 取得していない」と回答された場合、今後の対応についてはどうお考えですか。

1 ア 現在の管理者が資格を取得する予定  
0 イ 資格がある職員を採用して管理者を変更する予定(法人間の配置転換含む)  
0 ウ 事業の統合・廃止を検討している  
0 エ その他

(5) (4)において「エ その他」と回答された場合、内容を具体的にご記入ください。

(6) 1年間(令和7年4月1日～令和8年3月31日)の離職者の方の人数をご記入ください。

4人

(7) 離職理由について、多い(と思われる)ものを選択してください。(〇は3つまで)。

6 ア より賃金の高い職場で働きたいため  
0 イ より時間外勤務が少ない職場で働きたいため  
4 ウ より自分に合った勤務時間や勤務シフトで働きたいため  
2 エ 事業所の経営方針や理念が自分と合っている職場で働きたいため  
2 オ 職場の人間関係をリセットしたいため  
0 カ より権限と責任のある立場にステップアップするため  
0 キ 異なるサービスの事業所で経験を積みたいため  
0 ク 介護業界以外の職場で働きたいため  
2 ケ 親の介護や出産・育児など、仕事以外のことに時間をかけたいため  
4 コ 体調を崩したため  
4 サ 高齢のため  
1 シ その他

(8) (7)において「シ その他」と回答された場合、理由を具体的にご記入ください。

・業務が多忙のため

(9) 1年間(令和7年4月1日～令和8年3月31日)の入職者の人数をご記入ください。

9人

(10) 入職者の方の、介護支援専門員としての経験について選択してください。

2 介護支援専門員の業務は今まで未経験  
3 介護支援専門員の業務経験あり(職歴5年未満)  
5 介護支援専門員の業務経験あり(職歴5年以上)

(11) 介護支援専門員の人材不足を解消するために有効と思う市の支援等についてご意見があればご記入ください。

・市独自の手当や補助などでの処遇改善  
・シャドーワークを減らすための支援や取組  
・事務作業の簡素化  
等

## Q2 利用者の状況について

貴事業所の令和8年3月31日時点の介護度別利用者数をご記入ください。（※介護予防支援事業所からの委託を含む）

要支援1	24	人
要支援2	35	人
要介護1	2,217	人
要介護2	1,173	人
要介護3	757	人
要介護4	461	人
要介護5	244	人
全体	4,911	人

事業所における  
介護支援専門員1人当たりの利用者数  
50.1人 (←事業所内の平均利用者数が出ます)

## Q3 運営上の課題等について

(1) 貴事業所の運営上の課題について、該当するものを選択してください。（いくつでも）

3	ア 新規利用者の獲得が困難
12	イ 介護支援専門員の人材確保
1	ウ 介護支援専門員が離職してしまう
5	エ 介護支援専門員の育成
18	オ 困難事例が多い
14	カ 介護報酬が低い
2	キ 医療機関との連携がうまく行っていない
6	ク その他

(2) (1)で「ク その他」と回答した場合、運営上の課題について具体的にご記入ください。

・シャドーワーク等による業務量の増加等

(3) 新座市内で介護サービス事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービスはありますか。下記の<サービス一覧>から、それぞれ3つずつ番号を選択し、その理由をご記入ください。

<サービス一覧>

- |                         |                      |                  |                      |
|-------------------------|----------------------|------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護                 | 2. 訪問入浴介護            | 3. 訪問看護          | 4. 訪問リハビリテーション       |
| 5. 通所介護                 | 6. 通所リハビリテーション       | 7. 短期入所生活介護      | 8. 短期入所療養介護          |
| 9. 居宅療養管理指導             | 10. 特定施設入居者生活介護      | 11. 福祉用具貸与       | 12. 特定福祉用具販売         |
| 13. 住宅改修                | 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 15. 認知症対応型通所介護   | 16. 地域密着型通所介護        |
| 17. 小規模多機能型居宅介護         | 18. 看護小規模多機能型居宅介護    | 19. 認知症対応型共同生活介護 | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 21. 域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 22. 介護老人福祉施設         | 23. 介護老人保健施設     | 24. 介護医療院            |
| 25. 通所型サービス（総合事業）       | 26. 訪問型サービス（総合事業）    |                  |                      |

① 事業所数もしくは定員など、量的に不足しているサービス

(サービス番号)

(選んだ理由、また、その具体例等)

1	・人材不足 ・希望の曜日、時間帯に対応できる訪問介護員がいない ・事業所が少ない ・高齢化が進んでいる
6	・事業所が少ない等
5	・そもそも事業所が少ない ・入浴対応可能な事業所が少ない等

② ケアプランに組み入れにくいサービス

(サービス番号)

(選んだ理由、また、その具体例等)

14	・ニーズに合わせたプランを組むことが難しい等
17	・担当する介護支援専門員が変わってしまうため。等
18	・担当する介護支援専門員が変わってしまうため。等

(3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、ケアプランへの組み入れを検討したことはありますか。

21	ア 検討したことがあり、その際にケアプランへ組み込んだことがある。
7	イ 検討したことがあるが、ケアプランへ組み込んだことがない。
3	ウ 検討したことがない。

(4) (3)で「イ」または「ウ」を選んだ場合、その理由をご記入ください。

・ニーズのある利用者がいない  
・空きがない等の理由で事業所に断られてしまったため  
・単元が大きいため他のサービスとの併用が難しいため等

#### Q4 介護予防ケアマネジメント等について

- (1) 介護予防ケアマネジメントの委託を受けていますか。

13	ア 受けている →(4)人
18	イ 受けていない →(2)人

- (2) (1)において「イ 受けていない」と回答された場合、その理由を教えてください。

15	ア 居宅介護支援の業務が過多であるため
13	イ 予防給付のケアマネジメント費の委託料が少ないため
0	ウ 一人当たりが受け持つケアプランの件数を事業所独自に定めているため
8	エ 介護予防ケアマネジメントに係る書式が多いため
2	オ その他

- (3) (2)で「オ その他」と回答した場合、その理由を具体的にご記入ください。

\_\_\_\_\_

- (4) 介護予防ケアマネジメントの委託料の割合（※ 包括：居宅＝2：8）についてどうお考えですか。

2	ア 居宅介護支援事業所の割合が「高い」と思う
16	イ 割合は適正と感じる
13	ウ 居宅介護支援事業所の割合が「低い」と思う

- (5) (4)において「ア」又は「ウ」と回答された場合、その理由をご記入ください。

・居宅介護支援事業所の業務量が多いため、居宅介護支援事業所の割合が「低い」と感じる等

- (6) 介護予防ケアマネジメントの委託について、ご意見等ありましたらご記入ください。

・書類の簡略化  
・介護予防ケアマネジメントの報酬自体が低い等

- (7) 介護予防支援の指定を申請する意向はありますか。

1	意向あり → 時期を入力してください 希望時期：未定
29	意向なし

#### Q5 介護支援専門員の本来業務以外の業務（いわゆるシャドーワーク）について

- (1) トラブルを防止するため、契約時に利用者に介護支援専門員の本来業務の範囲について説明を行う等の対策を行っていますか。

19	ア 行っている
12	イ 行っていない

- (2) (1)において、「ア 行っている」と回答された場合、具体的にどのような対策を行っていますか。

・契約時に説明を行っている等

#### Q6 市で実施する研修や支援について

- (1) 市で行っている介護支援専門員の「資質向上」「業務改善」のための情報提供及び研修等で、効果があると思うものを選択してください。（〇はいくつでも）

28	ア 介護保険制度に関する情報提供（国県等からの通知及び市からの通知）
24	イ 市が行う集団指導
24	ウ 給付適正化に資するケアマネジメント研修
24	エ その他の研修（ハラスメント研修、感染症対策研修、BCP策定研修等）
0	オ 効果があると思う取組はない
2	カ その他

- (2) (1)において、「カ その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

・シャドーワーク等の保険外請求の対応について  
・新座市、志木市、朝霞市の合同研修

- (3) 業務向上のために市に支援してもらいたいことや、ご意見等がありましたらご記入ください。

・業務効率化についての研修  
・シャドーワークに対する支援  
・事業所連絡会を作ってほしい等

## Q7 地域ケア会議について

(1) 貴事業所の担当事例を自立支援型地域ケア会議へ提出したことはありますか。

27	ア ある →(2)へ
4	イ ない →(4)へ

(2) 専門職からのアドバイスを実行したことにより、事例の状態や状況などは改善しましたか。

11	ア 改善した
1	イ 改善しなかった
15	ウ どちらともいえない (変化はなかった)

(3) 自立支援型地域ケア会議に事例提出をしやすくするには、どのような工夫があるとよいですか。

18	ア 対象となる事例の条件緩和 (介護度の制限なし・困難ケースも可など)
20	イ 資料作成の負担の軽減
9	ウ 高齢者相談センターによる支援の強化
5	エ 開催時間帯や開催方法の変更
1	オ 特にない
1	カ その他 →

(4) 自立支援型地域ケア会議で収集したい情報はありますか。

12	ア ある →
13	イ ない

- ・地域のインフォーマルな社会資源
- ・自治会の情報
- ・専門職や行政からの専門的意見等

## Q8 地域区分について

※ 地域区分の変更予定や情報がある訳ではありません。参考にお伺いするものです。

(1) 新座市の現在の地域区分 (現在「5級地」) についてどのようにお考えですか。

11	低い
18	適当
0	高い

(2) 地域区分が上がった場合にどのような影響があると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

12	ア 介護保険財政への影響
20	イ 利用者の負担に影響 (負担増)
6	ウ 利用者の利用控えの発生
13	エ 保険料に影響 (増額)
6	オ 高い地域区分への人材流出の減少
7	カ 近隣市との地域区分との差の減少による人材の確保
6	キ 職員の給料の上昇
2	ク その他

(2)において「ク その他」と回答された場合、考えられる影響を具体的にご記入ください。

(3) 地域区分についてのご意見等ありましたら、ご記入ください。

- ・地域の物価が反映されるとよい
- 等

## Q9 国が検討を進めている事項等について

- (1) 介護情報基盤の導入に向けて、事業所対応を予定していますか。  
 ※新座市では令和10年度から令和11年度までの間に導入予定であり、現在準備を進めていますが、確実な時期は未定です
- |    |               |
|----|---------------|
| 0  | ア 対応済み        |
| 8  | イ 対応予定        |
| 8  | ウ 検討中         |
| 14 | エ 未定、今後検討していく |
- (2) 令和7年2月1日から、申請・届出については、原則電子申請届出システムでの提出となりましたが、利用していますか。
- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 13 | 利用している、または利用開始の予定がある → (3)へ |
| 18 | 利用していない                     |
- ・利用していないを選択した場合、その理由（問題点）について教えてください。
- |    |                    |
|----|--------------------|
| 11 | ア 始め方ややり方が分からないから  |
| 7  | イ GビズIDの取得が大変だから   |
| 4  | ウ 原則化したことを知らなかったから |
| 2  | エ その他              |
- 「エ その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。
- ・利用していないを選択した場合、問題点が解決すれば利用したいと思いますか。
- |    |            |
|----|------------|
| 14 | 利用したい      |
| 4  | 利用したいと思わない |
- ・「利用したいと思わない」を選択した場合、理由をご記入ください。
- ・窓口で不足がないか確認してもらいたい  
 ・受領印が欲しい  
 等
- (3) ケアプランデータ連携システムまたは同等の機能とセキュリティを有するシステムは導入していますか。
- |    |  |
|----|--|
| 7  | ア ケアプランデータ連携システムを導入している                |
| 2  | イ 同等の機能とセキュリティを有するシステムを導入している          |
| 14 | ウ 導入していないが、今後ケアプランデータ連携システムを導入予定       |
| 4  | エ 導入していないが、今後同等の機能とセキュリティを有するシステムを導入予定 |
| 4  | オ 今後も導入予定はない                           |
- ・「オ 今後も導入予定はない」を選択した場合、理由をご記入ください。
- ・希望はあるが、業務が先行して検討できていない。  
 ・導入するメリットを感じない
- (4) 科学的介護情報システム（LIFE）は導入していますか。
- |    |   |
|----|---|
| 4  | 導入している  |
| 4  | 導入していないが、今後導入予定 → 導入予定時期 <input type="text"/> 頃 |
| 21 | 今後も導入予定はない                                      |
- ・「今後も導入予定はない」を選択した場合、理由をご記入ください。
- ・業務多忙により、検討できていない  
 等
- (5) 災害時情報共有システムを利用したことがありますか。
- |    |                         |
|----|-------------------------|
| 4  | 利用したことがある               |
| 13 | 利用したことはないが、システムを認識している  |
| 13 | 利用したこともなく、どういうものかも分からない |
- <災害時情報共有システムとは>  
 災害が発生したときに、被災状況等を入力することで自治体が各事業所の状況を把握できるものです。
- (6) サービスCについてご意見がありましたら、ご記入ください。
- ・必要性を感じる。  
 ・体制の整備が必要である。  
 等

サービスCとは・・・

<対象者>

要支援者・事業対象者のうち、目標達成のための計画的な支援を短期集中的に行うことにより、介護予防・自立支援の効果が增大すると認められる者

<サービス内容と例>

対象者に対し、3月以上6月以下の期間を定めて保健医療に関する専門的な知識を有する者により提供される短期集中的なサービス

終了後も引き続き活動や参加が維持されるよう、通いの場等の社会参加に資する取組に結び付けることが重要

◆（例）通所型サービスC

独居となり外出頻度が減少。ベッドの上で過ごす時間が増え、IADLが低下。通所型サービスCに参加することで、必要な機能や体力が回復するとともに、利用者との交流により社会参加への意欲が増し、卒業後は通いの場に参加、介護サービスを利用せずに生活できるようになった。

◆（例）訪問型サービスC

転倒により骨折し入院。退院後は施設入所も検討したが、在宅サービスと訪問型サービスCを組み合わせて在宅生活を選択。サービスCにより日常生活を送るために必要な機能や筋力等が回復し、6か月後には元の生活に戻ることができた。

事業所が特定されることのないよう回答内容を集計しております。  
 ご了承ください。

# 第10期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査 (新座市高齢者相談センター)

・令和8年3月31日現在の情報でご回答ください。

・回答事業所数：8事業所

貴事業所について、お答えください。

Q1 令和8年3月31日時点の利用者の人数を介護度別にご記入ください。

事業対象者	25	人
要支援1	570	人
要支援2	621	人
全体	1,216	人

Q2 貴事業所において、ケアマネジメントの質の向上のために実施している取組をご記入ください。

- ・ケアプランを管理者や他の職員で確認、共有する体制をとっている
  - ・地域ケア会議に参加し、得たものを事業所内で共有している
  - ・積極的に研修に参加している。
- 等

Q3 貴事業所において、地域の居宅介護支援事業者の質の向上のために実施している取組をご記入ください。

- ・居宅介護支援事業所の支援、相談、課題解決を行っている
  - ・定期的に介護支援事業所向けに研修や勉強会を開催している
  - ・同行訪問を行い、一緒に課題解決を行っている
  - ・相談しやすい環境づくりを心掛けている
- 等

Q4 貴事業所の運営上の課題について伺います。

(1) 貴事業所の運営上の課題について、該当するものを選択してください。(〇はいくつでも)

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 5 | ① 相談者が増加し、新規利用者の受入れが困難         |
| 4 | ② 要介護になった利用者の居宅への引継ぎが困難        |
| 6 | ③ 専門職の人材確保（保健師・主任ケアマネ・介護支援専門員） |
| 1 | ④ 介護支援専門員の育成                   |
| 5 | ⑤ 困難事例への対応                     |
| 5 | ⑥ 委託料が低い                       |
| 3 | ⑦ その他                          |

(2) (1)で「⑦ その他」と回答した場合、運営上の課題について具体的にご記入ください。

- ・24時間電話対応の仕組みについて見直す必要がある
  - ・広報活動に係る費用が負担となっている
- 等

(3) (1)で選択した課題について、現在事業所が行っている取組と、今後さらに必要となる取組について、具体的なお意見をご記入ください(選択した項目ごとに回答してください。)

(番号) (現在事業所が行っている取組) (今後さらに必要となる取組)

(番号)	(現在事業所が行っている取組)	(今後さらに必要となる取組)
①	・居宅への委託	・センターの人員定数の増加
②	・こまめに居宅の空き情報を確認する ・市外の居宅にも声をかける	・ケアマネの採用を増やす取組 ・近隣との格差の是正
③	・求人活動	・センターの人員定数の増加
④	回答なし	回答なし
⑤	・職種間での連携 ・他機関との連携	・困難事例対応の経験やノウハウの共有 ・関連機関とのネットワーク強化 ・重層的支援体制の構築
⑥	・経費等の節減 ・加算を取得できるよう体制等の整備	・業務や事業の必要性の精査

※行が不足する場合は追加してご記入ください。

Q5 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託状況について

- (1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託をしていますか。
- 8 ア している →(2)へ  
 0 イ していない →(5)へ
- (2) (1)において「ア している」と回答された場合、令和8年3月31日時点の委託件数を教えてください。
- 件
- (3) (1)において「ア している」と回答された場合、令和7年度の委託連携加算の取得状況を教えてください。
- 5 ア 委託している利用者分は全て加算を取得している  
 0 イ 委託をしている一部の利用者の分について、加算を取得している  
 3 ウ 委託はしているが、加算を取得している事例はない
- (4) (3)で「ウ」と回答した場合、その理由を具体的にご記入ください。
- 要介護から要支援となった利用者を居宅に委託しているので、新規での委託はないため
- (5) (1)で「イ していない」と回答した場合、その理由を具体的にご記入ください。
- 
- (6) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託料の割合（※ 包括：居宅＝2：8）についてどうお考えですか。
- 0 ア 居宅介護支援事業所の割合が「高い」と思う  
 3 イ 割合は適正と感じる  
 5 ウ 居宅介護支援事業所の割合が「低い」と思う
- (7) (6)において「ア」又は「ウ」と回答された場合、その理由をご記入ください。
- ・業務量を考えると1：9の割合でもよいと感じる  
・1：9としている自治体の方が多いと感じる  
・居宅介護支援事業所の割合を高くした方が、委託を受け入れてくれる事業所が増えると思うため
- (8) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託について、ご意見等ありましたらご記入ください。
- ・手続きの簡素化、アセスメントツールの見直しが必要  
・手続きに対する報酬が適切か検討するべき  
等

Q6 国が検討を進めている事項等について

- (1) 介護情報基盤の導入に向けて、事業所で対応を予定していますか。
- ※新座市では令和10年度から令和11年度までの間に導入予定であり、現在準備を進めていますが、確実な時期は未定です
- 0 ア 対応済み  
 3 イ 対応予定  
 3 ウ 検討中  
 2 エ 未定、今後検討していく
- (2) 令和7年2月1日から、申請・届出については、原則電子申請届出システムでの提出となりましたが、利用していますか。
- 4 利用している、または利用開始の予定がある → (3)へ  
 4 利用していない
- ・利用していないを選択した場合、その理由（問題点）について教えてください。
- 1 ア 始め方ややり方が分からないから  
 2 イ GビズIDの取得が大変だから  
 0 ウ 原則化したことを知らなかったから  
 1 エ その他
- 「エ その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。
- 
- ・利用していないを選択した場合、問題点が解決すれば利用したいと思いますか。
- 3 利用したい  
 1 利用したいと思わない
- ・「利用したいと思わない」を選択した場合、理由をご記入ください。
-

**あなた自身のお考え等について、お答えください。**

Q1 ご自身が担当した総合相談の対応件数（令和7年度における1か月あたりのおおよその件数）をご記入ください。

914 件

Q2 ご自身が担当しているケアプラン作成件数をご記入ください（令和8年3月31日現在）。

1,138 件      うち、委託件数 71 件

Q3 個人として、ケアマネジメントの質の向上のために実施している取組をご記入ください。

・複数回に分けて丁寧にアセスメントを実施  
・積極的に研修に参加する  
・地域ケア会議に参加し、情報収集する。  
・事業所内で情報共有を行い、助言してもらう  
等

Q4 従前相当サービスと緩和された基準によるサービスについて、最も重要な課題だと思ふものを教えてください。

①介護予防訪問介護相当サービスと訪問型サービスAについての最も重要な課題

- 22 ア 人手不足
- 22 イ 事業所自体が少ない
- 18 ウ 報酬が低い
- 3 エ 介護予防訪問介護相当サービスと訪問型サービスAのどちらを位置付けるべきかの判断が難しい
- 0 オ ニーズがない
- 6 カ 制度に改善の余地がある
- 2 キ その他

①で「キ その他」と回答した場合、その具体的な理由を教えてください。

・受け入れ可能な事業所がない

②介護予防通所介護相当サービスと通所型サービスAについての最も重要な課題

- 12 ア 人手不足
- 27 イ 事業所自体が少ない
- 11 ウ 報酬が低い
- 5 エ 介護予防訪問介護相当サービスと訪問型サービスAのどちらを位置付けるべきかの判断が難しい
- 2 オ ニーズがない
- 6 カ 制度に改善の余地がある
- 2 キ その他

②で「キ その他」と回答した場合、その具体的な理由を教えてください。

Q5 利用者に介護サービスを位置付けるにあたり、以下の指定事業所の数について、どのようにお考えですか。  
①～④の各サービスについて選択してください。（5段階 かなり不足～充分足りる）

①介護予防訪問介護相当サービス

- 14 かなり不足している
- 28 不足している
- 0 適正
- 0 足りている
- 0 充分足りている

②訪問型サービスA

- 26 かなり不足している
- 12 不足している
- 1 適正
- 0 足りている
- 1 充分足りている

③介護予防通所介護相当サービス

- 5 かなり不足している
- 26 不足している
- 12 適正
- 0 足りている
- 0 充分足りている

④通所型サービスA

- 23 かなり不足している
- 13 不足している
- 4 適正
- 0 足りている
- 1 充分足りている

⑤居宅介護支援事業所

- 16 かなり不足している
- 23 不足している
- 3 適正
- 0 足りている
- 0 充分足りている

Q 6 上記以外のサービスで、地域に不足していると感じるサービスがありましたらご記入ください。

- ・通院や外出への支援、移送サービス。
  - ・（看護）小規模多機能型居宅介護、（介護予防）通所リハビリテーション
  - ・定期巡回
  - ・多床室のショートステイ、グループホーム
  - ・非該当になった方にご紹介できる無料の集いの場
  - ・公共交通機関やタクシー等の移手段
  - ・ごみ捨てのサービス
  - ・一人暮らしの高齢者の見守りサービス
  - ・介護保険サービス卒業後の通いの場
  - ・サービスB・C
- 等

Q 7 総合事業やその他介護保険施策に関する事について、市に対する提案等がありましたらご記入ください。

- ・一般介護予防またはサービスBの充実
  - ・訪問型サービスCの導入（栄養士・リハ職の訪問）
  - ・民間企業と自治体での介護予防に関するイベントの充実
  - ・介護事業所の人材確保の支援
  - ・移手段の拡充
  - ・総合事業の報酬及びサービス種別・内容の見直し
- 等

Q 8 基本チェックリスト更新についてご意見（課題等）がありましたらご記入ください。

- ・制度設計の見直しが必要
  - ・有効期限の見直しが必要
  - ・使いづらい面がある
  - ・初回からチェックリスト申請を可能としてほしい
  - ・項目を見直してほしい
- 等

Q 9 新座市の現在の地域区分（現在「5級地」）についてどのようにお考えですか。

※ 地域区分の変更予定や情報がある訳ではありません。参考にお伺いするものです。

(1) 新座市の現在の地域区分（現在「5級地」）についてどのようにお考えですか。

- 9 低い
- 30 適当
- 4 高い

(2) 地域区分が上がった場合にどのような影響があると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 17 ア 介護保険財政への影響
- 24 イ 利用者の負担に影響（負担増）
- 8 ウ 利用者の利用控えの発生
- 18 エ 保険料に影響（増額）
- 9 オ 高い地域区分への人材流出の減少
- 12 カ 近隣市との地域区分との差の減少による人材の確保
- 10 キ 職員の給料の上昇
- 0 ク その他

(2)において「ク その他」と回答された場合、考えられる影響を具体的にご記入ください。

(3) 地域区分についてのご意見等ありましたら、ご記入ください。

- ・近隣自治体との均衡を図ってほしい
  - ・利用者負担を考えるとそのままの方がいい
- 等

## Q10 サービスCについて

サービスCとは・・・

<対象者>

要支援者・事業対象者のうち、目標達成のための計画的な支援を短期集中的に行うことにより、介護予防・自立支援の効果が增大すると認められる者

<サービス内容と例>

対象者に対し、3月以上6月以下の期間を定めて保健医療に関する専門的な知識を有する者により提供される短期集中的なサービス終了後も引き続き活動や参加が維持されるよう、通いの場等の社会参加に資する取組に結び付けることが重要

◆（例）通所型サービスC

独居となり外出頻度が減少。ベッドの上で過ごす時間が増え、IADLが低下。通所型サービスCに参加することで、必要な機能や体力が回復するとともに、利用者との交流により社会参加への意欲が増し、卒業後は通いの場に参加、介護サービスを利用せずに生活できるようになった。

◆（例）訪問型サービスC

転倒により骨折し入院。退院後は施設入所も検討したが、在宅サービスと訪問型サービスCを組み合わせる在宅生活を選択。サービスCにより日常生活を送るために必要な機能や筋力等が回復し、6か月後には元の生活に戻ることができた。

(1) もしサービスCを実施した場合、対象となる利用者はいると思えますか。

- 19 ア いる  
5 イ いない  
19 ウ わからない

(2) 卒業後の生活を維持するために利用できるインフォーマルサービス等は地域にありますか。

- 10 ア ある  
25 イ ない  
8 ウ わからない

(3) サービスC全般について、ご意見がありましたらお聞かせください。

- ・短期集中のサービスの需要はあると感じる
- ・期間が決まっているサービスCの利用により、漫然とサービスを利用する利用者が減ると思う
- ・移動手段が課題となるので送迎があるとよい
- ・卒業後の通いの場およびそこまでの移動手段の整備が必要等

Q11 そのほか、ご意見・ご要望等ございましたらお聞かせください。

- ・欠員一人当たりの返還金の見直し
- ・どの圏域の人でも利用できるように通いの場を増やしてほしい
- ・交通の便が悪いという声を多く聞くので、移動手段が増えるとよい
- ・人材確保に取り組んでほしい等

事業所が特定されることのないよう回答内容を集計しております。  
ご了承ください。

# 第10期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査

## (介護予防訪問介護相当サービス及び訪問型サービスA)

・令和8年3月31日現在の情報でご回答ください。

・回答事業所数：15事業所

### Q1 基本的な事業所の情報

(1) 貴事業所の所在地について、選択してください。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 3 東部第一（池田・道場・片山・野寺）    | <input type="checkbox"/> 1 北部第一（東北・東）         |
| <input type="checkbox"/> 1 東部第二（畑中・馬場・栄・新塚）     | <input type="checkbox"/> 2 野火止五～八丁目（野火止5～8）   |
| <input type="checkbox"/> 2 西部（本多・あたご・菅沢・野火止1～4） | <input type="checkbox"/> 2 北部第二（中野・大和田・新座・北野） |
| <input type="checkbox"/> 1 西堀・新堀（新堀・西堀）         | <input type="checkbox"/> 0 市外                 |
| <input type="checkbox"/> 3 南部（石神・栗原・堀ノ内）        |   |

(2) 指定を受けているサービスについて、選択してください。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 15 介護予防訪問介護相当サービス（従前相当サービス） |
| <input type="checkbox"/> 8 訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）   |

### Q2 人材確保・定着に関する質問

(1) 貴事業所の従業者数について、ご記入ください。

人

上記のうち、訪問型サービスAの認定訪問介護員（市の研修受講者）の数をご記入ください。  
（就業時点で認定訪問介護員だった方を含む）

人

(2) 貴事業所に所属する訪問介護員について、以下の項目ごとの人数をご記入ください。詳細な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。

19歳以下	<input type="text" value="0"/>	人
20～29歳	<input type="text" value="14"/>	人
30～39歳	<input type="text" value="29"/>	人
40～49歳	<input type="text" value="54"/>	人
50～59歳	<input type="text" value="82"/>	人
60～69歳	<input type="text" value="84"/>	人
70歳以上	<input type="text" value="90"/>	人

(3) 外国人職員の雇用状況について、どのような状況ですか。

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1 雇用している ⇒   | <input type="text" value="5"/> 名（今までに採用した人数を教えてください。） |
| <input type="checkbox"/> 13 雇用していない ⇒ | <input type="text" value="9"/> 今後雇用する意向がある            |
|                                       | <input type="text" value="3"/> 今後雇用する意向はない            |

(4) 貴事業所の訪問介護員1名あたりのおおよそのサービス提供者数について、ご記入ください。

- |                    |      |                                   |                         |
|--------------------|------|-----------------------------------|-------------------------|
| ① 一番提供者数の多い訪問介護員…  | おおよそ | <input type="text" value="12.5"/> | 人の利用者へサービス提供をしている。（平均値） |
| ② 一番提供者数の少ない訪問介護員… | おおよそ | <input type="text" value="2.3"/>  | 人の利用者へサービス提供をしている。（平均値） |
| ③ 訪問介護員1名あたり平均…    | おおよそ | <input type="text" value="7.7"/>  | 人の利用者へサービス提供をしている。（平均値） |

(5) この一年間、貴事業所における介護人材の確保について、どのような状況ですか。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 0 確保できている     |
| <input type="checkbox"/> 6 おおむね確保できている |
| <input type="checkbox"/> 3 あまり確保できていない |
| <input type="checkbox"/> 6 確保できていない    |

(6) この一年間、貴事業所における訪問介護員の定着について、どのような状況ですか。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 3 定着し安定している           |
| <input type="checkbox"/> 7 たまに離職者がいるが、ほぼ安定している |
| <input type="checkbox"/> 3 離職者が多く、不安定である       |
| <input type="checkbox"/> 2 その他                 |

「その他」と回答された場合、具体的に状況をご記入ください。

・人数としては大きな変化はないが、ヘルパーの高齢化が進み一人当たりのこなせる業務量が減っている  
・高齢化のため体力的な不安から離職となっている現状  
等

(7) 人材を確保できない、定着しない課題は何ですか。

給与水準

- 0 拘束時間
- 5 勤務体制
- 1 人間関係
- 8 精神的・体力的に厳しい
- 2 その他

「その他」と回答された場合、具体的に課題をご記入ください。

・求人しても応募がない  
等

(8) 人材確保・定着のために行っている取組の中で有効だったものがありましたら、下記にご記入ください。

・希望に応じて働きやすい勤務時間を設定  
・定期的な面談の実施  
・職業安定所への登録  
・スポットワークで来た方への入職の声掛け  
・初任者研修の資格取得を全額負担し、同行研修をしっかりと行い不安を解消することで認定訪問介護員の入職につながった。  
等

(9) 「新座市介護資格等取得費補助金」について、どのような制度が知っていますか。

- 2 知っていて、活用したことがある
- 9 知っているが、活用したことはない
- 4 知らない

(10) (9)で「知っているが、活用したことはない」と回答された場合、その理由を下記にご記入ください。

・埼玉県や社内の補助金を利用している  
・資格取得者を採用している  
・対象となるものがない  
等

(11) 人材確保・定着について、市の政策としてご意見・ご要望等がありましたら、下記にご記入ください。

(例)新規訪問介護員に向けた研修の実施、資格取得時の費用の補助 等

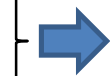
・人材確保の支援  
・求人や研修に係る費用の補助  
・住宅手当等の補助  
等

### Q3 介護予防・生活支援サービスに関する質問

(1) 事業対象者・要支援1・2の利用者の人数をご記入ください。（正確な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。）

①事業所全体の利用者

事業対象者	13	人
要支援1	75	人
要支援2	97	人



②介護予防訪問介護相当サービス（従前相当サービス）の利用者

事業対象者	5	人
要支援1	70	人
要支援2	91	人

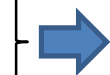
③訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）の利用者

事業対象者	7	人
要支援1	5	人
要支援2	6	人

(2) 事業対象者・要支援1・2の利用者のうち「見守りの援助」の該当者の人数をご記入ください。（正確な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。）

①事業所全体の利用者

事業対象者	4	人
要支援1	55	人
要支援2	71	人



②介護予防訪問介護相当サービス（従前相当サービス）の利用者

事業対象者	2	人
要支援1	37	人
要支援2	58	人

③訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）の利用者

事業対象者	0	人
要支援1	0	人
要支援2	1	人

※「見守りの援助」とは、老計10号に示される身体介護のうち「自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)」を指します。

(以下、例示)

- ベッド上からポータブルトイレ等(いす)へ利用者が移乗する際に、転倒等の防止のため付き添い、必要に応じて介助を行う。
- 認知症等の高齢者がリハビリパンツやパット交換を見守り・声かけを行うことにより、一人で出来るだけ交換し後始末が出来るように支援する。
- 認知症等の高齢者に対して、ヘルパーが声かけと誘導で食事・水分摂取を支援する。
- 入浴、更衣等の見守り(必要に応じて行う介助、転倒予防のための声かけ、気分の確認などを含む)
- 移動時、転倒しないように側について歩く(介護は必要時だけで、事故がないように常に見守る)
- ベッドの出入り時など自立を促すための声かけ(声かけや見守り中心で必要な時だけ介助)
- 本人が自ら適切な服薬ができるよう、服薬時において、直接介助は行わずに、側で見守り、服薬を促す。
- 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う掃除、整理整頓(安全確認の声かけ、疲労の確認を含む)
- ゴミの分別が分からない利用者と一緒に分別をしてゴミ出しのルールを理解してもらう又は思い出してもらうよう援助
- 認知症の高齢者の方と一緒に冷蔵庫のなかの整理等を行うことにより、生活歴の喚起を促す。
- 洗濯物を一緒に干したりたたんだりすることにより自立支援を促すとともに、転倒予防等のための見守り・声かけを行う。
- 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行うベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等
- 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う衣類の整理・被服の補修、
- 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う調理、配膳、後片付け(安全確認の声かけ、疲労の確認を含む)
- 車イス等での移動介助を行って店に行き、本人が自ら品物を選ぶよう援助
- 上記のほか、安全を確保しつつ常時介助できる状態で行うもの等であって、利用者と訪問介護員等とともに日常生活に関する動作を行うことが、ADL・IADL・QOL向上の観点から、利用者の自立支援・重度化防止に資するものとしてケアプランに位置付けられたもの

(3) 事業対象者・要支援1・2の利用者のうち、「生活援助のみ」の該当者の人数をご記入ください。（正確な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。）

①事業所全体の利用者

事業対象者	12	人
要支援1	59	人
要支援2	69	人



②介護予防訪問介護相当サービス（従前相当サービス）の利用者

事業対象者	4	人
要支援1	48	人
要支援2	48	人

③訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）の利用者

事業対象者	7	人
要支援1	18	人
要支援2	14	人

(4) 総合事業の実施に関して新座市高齢者相談センターに対するご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

回答なし
------

## Q4 訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）について

(1) 訪問型サービスAの指定を受けていますか。

- 10 受けている → (2)人  
 5 受けていない → (3)人

(2) 年間、何名程度の利用者を受け入れていますか。

名（実人数）※平均

① 利用者が5名に満たない場合、その理由を教えてください。

- 6 高齢者相談センターから依頼がない  
 2 人手不足  
 3 その他 → 自由記述欄に記入してください。

「その他」と回答された場合、具体的にご記入ください。

・単価が低いため  
・対象となる利用者がいないため  
等

② 今までに高齢者相談センターから相談があったときに、断ったことはありますか。

- 3 ア ない  
 6 イ 人手不足により断ったことがある  
 1 ウ サービスAの認識について、高齢者相談センターとズレがあり断ったことがある（サービスAではなく従前相当を提案した等）  
 1 エ そもそも高齢者相談センターからの相談がない

③ 貴事業所における訪問型サービスAの提供時の介護福祉士又は介護職員初任者研修修了者のおおよその提供割合を選択してください。

%程度（0～100%、10%刻みで回答してください）

④ 令和7年度中に、市が主催する介護に関する入門的研修のマッチングに参加したことはありますか。

- 3 参加したことがある  
 8 参加していない

参加していない場合、その理由を教えてください。

・時間が取れないため  
等

⑤ 訪問型サービスAの拡大に向けての課題や、市に求めることはありますか。

・単位数や職員の処遇の改善が必要  
等

(3) 訪問型サービスAの指定を受けていない理由はありますか。

・人手不足  
・単価が低いため受ける余裕がない  
等

① 訪問型サービスAの拡大に向けての課題や、市に求めることはありますか。

回答なし

## Q5 事業所の運営について

(1) 介護報酬改定前（令和5年度）と比べて経営状況はどうですか。

- 1 良くなった
- 8 悪くなった
- 1 かなり厳しく、今後経営状況について市に相談したいと考えている
- 5 変わらない

(2) 貴事業所の運営に関して現在、困難を感じることは何ですか。

- 12 人材の確保が難しい
- 4 人材育成が難しい
- 9 事務作業が多い
- 3 経営経費・活動資金が不足している
- 2 施設・設備の改善が難しい
- 8 介護報酬が実態にそぐわない
- 2 利用者の継続的な確保が難しい
- 4 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない
- 1 市町村等との連携を図ることが難しい
- 0 その他
- 0 特に問題はない

「その他」と回答された場合、具体的にご記入ください。

## Q6 地域区分について

※ 地域区分の変更予定や情報がある訳ではありません。参考にお伺いするものです。

(1) 新座市の現在の地域区分（現在「5級地」）についてどのようにお考えですか。

- 9 低い
- 6 適当
- 0 高い

(2) 地域区分が上がった場合にどのような影響があると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 3 ア 介護保険財政への影響
- 10 イ 利用者の負担に影響（負担増）
- 0 ウ 利用者の利用控えの発生
- 4 エ 保険料に影響（増額）
- 7 オ 高い地域区分への人材流出の減少
- 7 カ 近隣市との地域区分との差の減少による人材の確保
- 2 キ 職員の給料の上昇
- 0 ク その他

(2)において「ク その他」と回答された場合、考えられる影響を具体的にご記入ください。

(3) 地域区分についてのご意見等ありましたら、ご記入ください。

- ・ 地域区分が高い地域への人材流出が起きている
  - ・ 近隣自治体との均衡を図るべき
  - ・ 地域区分や加算については、利用者負担とせずに国で負担してもらいたい
- 等

## Q7 国が検討を進めている事項等について

- (1) 介護情報基盤の導入に向けて、事業所では対応を予定していますか。

※新座市では令和10年度から令和11年度までの間に導入予定であり、現在準備を進めていますが、確実な時期は未定です

- 1 ア 対応済み
- 0 イ 対応予定
- 8 ウ 検討中
- 6 エ 未定、今後検討していく

- (2) 令和7年2月1日から、申請・届出については、原則電子申請届出システムでの提出となりましたが、利用していますか。

- 12 利用している、または利用開始の予定がある → (3)へ
- 3 利用していない

- ・ 利用していないを選択した場合、その理由（問題点）について教えてください。

- 1 ア 始め方ややり方が分からないから
- 0 イ GビズIDの取得が大変だから
- 1 ウ 原則化したことを知らなかったから
- 1 エ その他

「エ その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

・ 既存の方法より手間がかかるため。

- ・ 利用していないを選択した場合、問題点が解決すれば利用したいと思いますか。

- 3 利用したい
- 1 利用したいと思わない

- ・ 「利用したいと思わない」を選択した場合、理由をご記入ください。

・ 既存の方法よりも簡素化されれば利用を 考えるが、難しいと思うため

- (3) ケアプランデータ連携システムまたは同等の機能とセキュリティを有するシステムは導入していますか。

- 4 ア ケアプランデータ連携システムを導入している
- 1 イ 同等の機能とセキュリティを有するシステムを導入している
- 7 ウ 導入していないが、今後ケアプランデータ連携システムを導入予定
- 2 エ 導入していないが、今後同等の機能とセキュリティを有するシステムを導入予定
- 1 オ 今後も導入予定はない

- ・ 「オ 今後も導入予定はない」を選択した場合、理由をご記入ください。

- (4) 科学的介護情報システム（LIFE）は導入していますか。

- 1 導入している
- 6 導入していないが、今後導入予定 → 導入予定時期  頃
- 8 今後も導入予定はない

- ・ 「今後も導入予定はない」を選択した場合、理由をご記入ください。

・ 必要性がない  
・ 内容が分からないため  
等

- (5) 災害時情報共有システムを利用したことがありますか。

- 7 利用したことがある
- 4 利用したことはないが、システムを認識している
- 3 利用したこともなく、どういうものかも分からない

<災害時情報共有システムとは>  
災害が発生したときに、被災状況等を入力することで自治体が各事業所の状況を把握できるものです。

事業所が特定されることのないよう回答内容を集計しております。  
ご了承ください。

# 第10期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査 (介護予防通所介護相当サービス及び通所型サービスA)

・令和8年3月31日現在の情報でご回答ください。

・回答事業所数：27事業所

## Q1 基本的な事業所の情報

(1) 貴事業所の所在地について、選択してください。

3	東部第一（池田・道場・片山・野寺）	2	北部第一（東北・東）
4	東部第二（畑中・馬場・栄・新塚）	1	野火止五～八丁目（野火止5～8）
6	西部（本多・あたご・菅沢・野火止1～4）	6	北部第二（中野・大和田・新座・北野）
1	西堀・新堀（新堀・西堀）	0	市外
4	南部（石神・栗原・堀ノ内）		

(2) 指定を受けているサービスについて、選択してください。

27	介護予防通所介護相当サービス（従前相当サービス）
2	通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）

(3) 貴事業所の利用定員について、ご記入ください。

689人

(4) 事業対象者・要支援1・2の利用者の人数をご記入ください。正確な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。

①事業所全体の利用者

事業対象者	252	人
要支援1	198	人
要支援2	284	人



②介護予防通所介護相当サービス（従前相当サービス）の利用者

事業対象者	78	人
要支援1	149	人
要支援2	235	人

③通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）の利用者

事業対象者	102	人
要支援1	52	人
要支援2	55	人

(5) 通所型サービスの利用者について、週当たりの利用回数ごとの利用者数をご記入ください。正確な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。

事業対象者で週1回の利用者	44	人
事業対象者で週2回以上の利用者	183	人
要支援1で週1回の利用者	175	人
要支援1で週2回以上の利用者	20	人
要支援2で週1回の利用者	121	人
要支援2で週2回以上の利用者	163	人

(6) 事業対象者・要支援1・2の利用者について、1回当たりの利用時間ごとの利用者数をご記入ください。正確な人数がすぐに分からない場合は、おおむねの人数で結構です。

2-3時間	35	人
3-4時間	291	人
4-5時間	3	人
5-6時間	49	人
6-7時間	80	人
7-8時間	171	人
8-9時間	50	人
上記以上	63	人

## Q2 人材確保・定着に関する質問

(1) 貴事業所の従業者数について、ご記入ください。

355 人

(2) (※利用定員が10人以下の事業所にお伺いします。)看護職員の配置はありますか。

10 看護職員を配置している

6 看護職員を配置していない

(3) 貴事業所において、現在、従業者の募集を行っていますか。

20 行っている →(4)へ

6 行っていない →(5)へ

(4) 外国人職員の雇用状況について、どのような状況ですか。

5 雇用している ⇒ 14 名 (今までに採用した人数を教えてください。)

13 雇用していない ⇒ 10 今後雇用する意向がある

5 今後雇用する意向はない

(5) この一年間、貴事業所における介護人材の確保について、どのような状況ですか。

4 確保できている

15 おおむね確保できている

7 あまり確保できていない

0 確保できていない

(6) この一年間、貴事業所における従業者の定着について、どのような状況ですか。

7 定着し安定している

15 たまに離職者がいるが、ほぼ安定している

3 離職者が多く、不安定である

1 その他

「その他」と回答された場合、具体的に状況をご記入ください。

・開設したばかりなのでわからない。

(7) 人材が確保できない、従業者が定着しない課題は何ですか。

19 給与水準

3 拘束時間

4 勤務体制

1 人間関係

4 精神的・体力的に厳しい

5 その他

「その他」と回答された場合、具体的に課題をご記入ください。

・交通の便がよくないため  
・そもそも応募がない  
・イメージと実際の業務のギャップがあると定着しにくい  
等

(8) 人材確保・定着のために行っている取組の中で有効だったものがありましたら、下記にご記入ください。

・相談しやすい環境づくり  
・コミュニケーションを大切にする  
・資格取得支援制度の活用  
・有休取得の促進  
・時間外労働をなくす  
等

(9) 人材確保・定着について、市の政策としてご意見・ご要望等がありましたら、下記にご記入ください。

(例)新規の従業者に向けた研修の実施、資格取得時の費用の補助 等

・学生向けの職業ガイダンス  
・地域区分の見直し  
・資格取得時の費用の補助  
・市独自の手当や補助金  
等

## Q3 介護予防・生活支援サービスに関する質問

(1) 総合事業の実施に関して新座市高齢者相談センターに対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

回答なし

## Q4 通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）について

(1) 通所型サービスAの指定を受けていますか。

- 8 受けている → (2)入  
 19 受けていない → (3)入

(2) 年間、何名程度の利用者を受け入れていますか。

名（実人数）

① 利用者が5名に満たない場合、その理由を教えてください。

- 1 包括から依頼がない  
 1 その他 → 自由記述欄に記入してください。  
「その他」と回答された場合、具体的にご記入ください。

② 通所型サービスAを実施する中で、利用者に効果があると実感することがありますか。

- 5 特になし  
 3 ある

「ある」と回答された場合、具体的にご記入ください。

③ 継続するうえで課題と感じていることはありますか。

(3) 通所型サービスAの指定を受けていない理由がありますか。

- ・単価が低いため  
・要介護者を主な対象として運営しているため  
等

① 通所型サービスAの拡大に向けての課題や、市に求めることはありますか。

- ・単価の見直し  
等

## Q5 事業所の運営について

(1) 介護報酬改定前（令和5年度）と比べて経営状況はどうですか。

- 1 良くなった  
 7 悪くなった  
 0 かなり厳しく、今後経営状況について市に相談したいと考えている  
 17 変わらない

(2) 貴事業所の運営に関して現在、困難を感じることは何ですか。

- 19 人材の確保が難しい  
 9 人材育成が難しい  
 10 事務作業が多い  
 8 経営経費・活動資金が不足している  
 8 施設・設備の改善が難しい  
 11 介護報酬が実態にそぐわない  
 4 利用者の継続的な確保が難しい  
 3 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない  
 1 市町村等との連携を図ることが難しい  
 1 その他  
 2 特に問題はない

「その他」と回答された場合、具体的にご記入ください。

- ・送迎時間の兼ね合いで利用者を増やせない

## Q6 地域区分について

※ 地域区分の変更予定や情報がある訳ではありません。参考にお伺いするものです。

(1) 新座市の現在の地域区分（現在「5級地」）についてどのようにお考えですか。

- 17 低い
- 9 適当
- 0 高い

(2) 地域区分が上がった場合にどのような影響があると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 8 ア 介護保険財政への影響
- 20 イ 利用者の負担に影響（負担増）
- 4 ウ 利用者の利用控えの発生
- 5 エ 保険料に影響（増額）
- 9 オ 高い地域区分への人材流出の減少
- 14 カ 近隣市との地域区分との差の減少による人材の確保
- 12 キ 職員の給料の上昇
- 1 ク その他

(2)において「ク その他」と回答された場合、考えられる影響を具体的にご記入ください。

(3) 地域区分についてのご意見等ありましたら、ご記入ください。

- ・近隣市との地域区分の差を減少させてほしい
- ・高い地域区分への人材の流出が起きないよう地域区分の引き上げを検討してほしい
- 等

## Q7 国が検討を進めている事項等について

(1) 介護情報基盤の導入に向けて、事業所で対応を予定していますか。

※新座市では令和10年度から令和11年度までの間に導入予定であり、現在準備を進めていますが、確実な時期は未定です

- 2 ア 対応済み
- 9 イ 対応予定
- 8 ウ 検討中
- 8 エ 未定、今後検討していく

(2) 令和7年2月1日から、申請・届出については、原則電子申請届出システムでの提出となりましたが、利用していますか。

- 20 利用している、または利用開始の予定がある → (3)へ
- 7 利用していない

・ 利用していないを選択した場合、その理由（問題点）について教えてください。

- 5 ア 始め方ややり方が分からないから
- 0 イ GビズIDの取得が大変だから
- 2 ウ 原則化したことを知らなかったから
- 1 エ その他

「エ その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

・ 利用していないを選択した場合、問題点が解決すれば利用したいと思いますか。

- 6 利用したい
- 0 利用したいと思わない

・ 「利用したいと思わない」を選択した場合、理由をご記入ください。

(3) ケアプランデータ連携システムは導入していますか。

- 5 導入している
- 19 導入していないが、今後導入予定
- 3 今後も導入予定はない

・ 「今後も導入予定はない」を選択した場合、理由をご記入ください。

- ・メリットを感じない
- ・対応できる職員がいない

(4) 科学的介護情報システム（LIFE）は導入していますか。

16 導入している

4 導入していないが、今後導入予定 → 導入予定時期 ・状況に応じて・年内もしくは来年 頃

3 今後も導入予定はない

・ 「今後も導入予定はない」を選択した場合、理由をご記入ください。

・ 必要性を感じない  
・ 対応できる職員がいない  
・ 事務作業が増加するため  
等

(5) 災害時情報共有システムを利用したことがありますか。

9 利用したことがある

9 利用したことはないが、システムを認識してはいる

9 利用したこともなく、どういうものかも分からない

<災害時情報共有システムとは>  
災害が発生したときに、被災状況等を入力することで自治体が各事業所の状況を把握できるものです。

事業所が特定されることのないよう回答内容を集計しております。  
ご了承ください。